

元ひきこもり当事者による当事者目線の家族会

KSC親の会 in 取手

開催日時：5月11日（勉強会）21日（オープンカウンセリング）

13：30～16：00



一向に進展しない現状にうんざりしているあなたへ

これまでの関わり方をちょっとずつ変えていくことで、

子供自ら、前向きな行動を起こす姿を見たくありませんか？

【KSC親の会の役割】

KSC親の会は、一向に進展しない現状にうんざりしている、そんなあなたの最後の砦でありたいと思っています。そして、あなたが求める親子関係を実現するためのサポートをする過程で、あなたの子供に、ひきこもりという今の状況から脱してもらうことを目的としています。あなたが望む未来へ進むための航海の羅針盤の役割を果たし、親と子が、Win-Winの関係を築いていくのが、このKSC親の会です。まずは現状を見直すところから始めていきましょう。

詳細につきましてはこちらからも確認ができます → <https://goo.gl/zSDZSM>

1

指導者がいる
安心感

人の心理や行動原理、自らの経験をもとに、親子関係の修復、信頼関係の構築をサポート。

2

県内各地で
開催

茨城県古河市を拠点とした、県内3カ所で開催。参加しやすい地域にご参加ください。

3

知識を共有

ひきこもりに関する相談だけでなく、現状を変えていくために絶対知っておくべき必要な知識を提供。



会場

取手ウェルネスプラザ
セミナールームB

※会場への直接のお問い合わせは
ご遠慮願います。



お問い合わせ

raicore.33@gmail.com

090-3242-1031

茨城県古河市大山1740-192

受付担当：菊地



アクセス

取手ウェルネスプラザ

〒302-0024

茨城県取手市新町2-5-25

JR常磐線取手駅・関東鉄道常総線

取手駅より徒歩約3分



※ 使用している写真は全てイメージです

KSC親の会が、なぜ、各会場

月2回の開催なのか

ひきこもりという問題を改善・解決へ向け必要なものは、
『心の状態の安定』と『知識』。そして、『親子の信頼関係』

今の活動を始めてからこれまで、よその家族会などを見てきた限りでは、相談や親どうしの情報交換が主流で、知識を取り入れる場としてあるのが、年に1~2回、専門家による講演会や、経験者による体験談などが聞ける場だと思います。

このような形が主流であるからこそ見えてきたことですが、悩みを抱える親御さんが、これまで幾度となく足を運んでも、現状を変えられない一番の原因は、ひきこもりという、イレギュラーなものに対し、「自分のこれまでの経験」と、『わからないものをわからないまま』何とかしようとする事が挙げられます。

「子育て」とはまた違う、「ひきこもり」というイレギュラーなもの、わからないものに対して、今の現状を変えて行くには、学ぶことが一番です。

オープンカウンセリングで「心の状態の安定」と「関わり方の軌道修正」を。勉強会で「必要な知識」を取り入れる。そこで得たものを活用し、『親子関係の修復』『親子の信頼関係』を構築していく。月2回の開催の理由はここにあります。

KSC親の会が目指すもの

親と子が、ともにお互いを感謝し合える関係

「ひきこもり」=『ギフト』

この会を立ち上げた一番の理由は、「世の中から引きこもりをなくしたい」という思いから立ち上げたのが全ての始まりです。

ひきこもりに関するニュースというのは、親が子を手にかけたり、子供が親を…。または、更生施設のような場に子供を追いやり、ろくな成果が見られないまま多額な損害を負うだけでなく、その上、子供が親を一生恨み続けるといった、理不尽で悲しいものばかりです。

なぜこのようなことになるのかを考えてみると、双方の関係に『感謝』があるかないか。そこが一番の問題になってきます。これがもし、子供がひきこもってしようと、双方に感謝できる関係があれば、上述のような悲しいものにはならないのではないかと。

そう考え、ひきこもりという問題で生じる、親子の関係やお互いの将来のこと、さらに、お金のことなど、全ての不安を払拭し、本当に得たかったものを手にすることができれば、「子供がひきこもってさえないければ…」という、ネガティブな発想から、「子供がひきこもらなければ、得られないものを手に入れた」と、親が子供に感謝し、子供自身も、これまで支えてくれた親に感謝をし、親と子の双方が、Win-Winの関係を作り出すことで、「ひきこもり」というネガティブなイメージがもたらす環境を、これまでにない『ギフト』にすることです。



参加されている方の声

Nさん：KSC親の会に参加して1年6ヶ月

前進して後戻りしての繰り返しだけちょっとづつ動いている気がします。

今では、家族で一緒に出かけることができるようになり、たまに主人の仕事を手伝ってくれています。

ここに参加するようになって、一番変わったのは主人かもしれません。罪悪感から、子供に話しかけることができなくなったのが、菊地さんと会ってからは、積極的にコミュニケーションを図るようになり、子供との交流が増えました。

Kさん：KSC親の会に参加して1年

親の私は、子供が引きこもったことで落ち込み、泣いてばかりでどうしたらいいかわからずにいました。保健所でこの会を知り、参加したことで、私自身どう物事を考え、どう子供と接していったらいいのか、具体的にアドバイスを頂けるので、気持ちが楽になり、前に向かって進んでいっています。

親の会は、皆同じ悩みを持っている仲間ようで、ほかの方の話聞くだけでも自分に足りないものや考え方の違いに、色々なことに気付いて、とても勉強になります。

主催者プロフィール

菊地 和也：KSC親の会代表

スピードコーチング社 認定コーチ

ひきこもり問題改善コーチ（子供への関わり方を見直し、問題を改善する専門家）

約4年のひきこもり経験を持つ元当事者。

腫れ物に触るような親の接し方が気に入らず、強い敵意を持っていたが、母の関わり方が変わったことにより関係を修復。その後、コーチングに興味を持ちコーチとしての資格を取得。

「世の中から引きこもりをなくしたい」という思いから、自らの経験と、人の心理や行動原理などの知識を活かし、2016年6月に、KSC親の会を立ち上げ、当事者目線からの指導、相談にあたる。また、県内の各保健所での家族教室などから依頼を受ける。当事者、経験者が主催するイベントの企画、運営等のサポートもしながら活動中。

LINEからも確認できます。

開催日時や会場などは、今お使いのLINEからもご確認いただけます。こちらのQRコード、または「@qio2393u」で検索して、KSC親の会LINE@にご登録ください。



LINE@